

東北地方太平洋沖地震を受けた 志賀原子力発電所の対応について

平成23年3月18日
北陸電力株式会社

当社は、今回の東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日発生）による福島第一原子力発電所における事故を踏まえ、志賀原子力発電所における一層の信頼性向上を図るため、現時点における対応を取りまとめましたのでお知らせします。

引き続き、福島第一原子力発電所における事故に係る情報収集に努めるとともに、更なる対策についても検討を進めてまいります。

また、今回の福島第一原子力発電所で発生した事故に係る解明が行われるものと考えており、その詳細内容、原因等を踏まえた対策についても適切に対応してまいります。

【信頼性向上対策】

- ・非常用電源車の配備（実施済）
- ・原子炉補機冷却海水ポンプ 用の予備電動機の確保
- ・海水熱交換器建屋の浸水対策の強化 等

以 上

添付資料 東北地方太平洋沖地震を踏まえた志賀原子力発電所の対応事項について

原子炉補機冷却海水ポンプ

原子炉建屋内にある熱交換器等に必要となる冷却水の熱を除去するための海水を汲み上げるポンプ

東北地方太平洋沖地震を踏まえた志賀原子力発電所の対応事項について

1. 地震発生時の志賀原子力発電所の状況

(1) 地震の概要

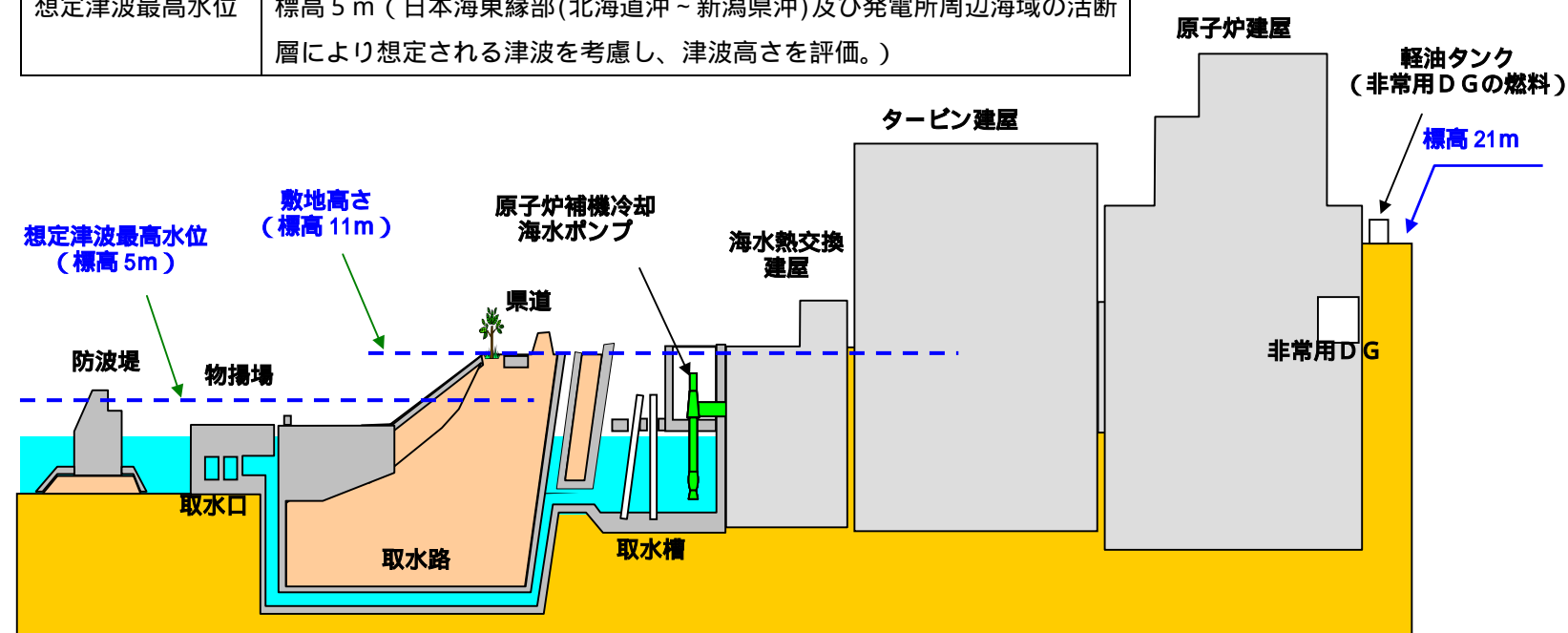
発生日時	マグニ チュード	震源位置		震源深さ	地震の 種別	最大震度
		東経	北緯			
2011年3月11日 14時46分頃	9.0	142.9°	38.0°	24km	プレート 境界地震	7

(2) 志賀原子力発電所の状況

	1号機	2号機
地震発生時の プラント状況	原子炉冷却材再循環ポンプ (B号機)軸封部取替に伴 う停止中	第3回定期検査に伴う停止 中
観測加速度	2ガル	2ガル

2. 敷地高さ と 想定津波最高水位

敷地高さ	標高 11m (原子炉建屋付近で標高 21m)
想定津波最高水位	標高 5m (日本海東縁部(北海道沖～新潟県沖)及び発電所周辺海域の活断層により想定される津波を考慮し、津波高さを評価。)



3. 津波に対する信頼性向上対策

非常用電源車 5 台の配備 (実施済)

電源が確保できない場合には、非常用電源車から電気を供給する。



電源喪失を想定した過酷事故対応訓練の強化

津波により通常の電源が確保できない場合を想定した非常用電源車からの電源切替や原子炉補機冷却海水ポンプの電動機交換などを含めた過酷事故訓練を行う。

原子炉補機冷却海水ポンプ用の予備電動機の確保

原子炉補機冷却海水ポンプの電動機が浸水し使用できない場合には、予備の電動機と交換することにより、機能回復を図る。



海水熱交換器建屋の浸水対策

海水熱交換器建屋内にある冷却ポンプの電動機の浸水を防止するため、海水熱交換器建屋の扉の水密化を行うなど、海水熱交換器建屋の浸水対策を強化する。



今後も福島第一原子力発電所の事故について引き続き情報収集に努めるとともに、更なる対策について検討してまいります。